

12月度(例会)個人山行報告書		報告者	神戸	参加メンバー	CL: 愛知岳連 北村理事(春日井山岳会)、石川さん(GSA)、岩瀬さん(蒲郡山の会) 参加: 神戸(DN)
		報告日	1/12		
山域	鈴鹿山地	山行日	15年9月5日(土)		
山名	国見岳				

山行目的	親睦登山(愛岳県民登山コースを検討)	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	--------------------	-------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図: 御在所山

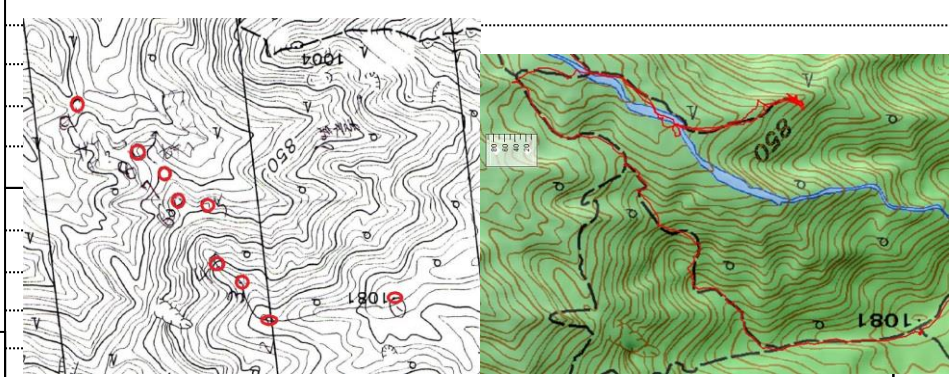
12/12(土)晴れ  
9:10 御在所裏登山口発  
10:00 北谷小屋着、デポ  
10:30 北谷小屋発  
10:55-11:05 1004m 休憩  
11:40-12:00 国見岳 休憩  
読図トレーニング  
13:15 山岳寺跡  
13:40-50 岳不動 休憩  
14:20 北谷小屋戻り  
16:00~ 懇親会  
12/13(日)  
05:55~ 起床、朝食  
07:40 北谷小屋発  
08:10 駐車場着

読図ポイントで地形の特徴を説明される北村氏

〈山行報告〉 山行の目的: 「山の日」制定を祝う愛知岳連主催の親睦登山。北村氏の意図の一方は愛知岳連主催の「県民登山」(安全登山啓蒙の為の読図登山)のコース新規開拓の為に、読図ポイントを探る為の下見登山とのことだった。

概要: 以下、国見岳からハライドへの道から左の地形図にない道で読図のポイントで現在地把握をするはずが、現在の地形図にあるようにしっかり道がついていた。とほいうものの地形の弱点を的確に見抜き、そのポイントを把握される北村氏の力量には感服した。以下読図の要領を記す。

- ・まず道を進む前にプランニング(地形の特徴ある○で示したポイントを決める)
- ・○から○の方向をコンパスに覚えさせ(リングを回す)、歩数でおよその距離を把握する。
- ・○の地形の特徴で現在地と判別する。次のポイントでも同様に続ける。といった形である。



スペースの紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認(リーダー)  
神戸  
15/12/16  
作成(報告者)  
神戸  
15/12/16

〈リーダー所見〉軽い気持ちで読図登山に参加したら、愛岳の重鎮の方とマンツーマン指導(数的には3対1)だった。私も読図指導時には北村氏のようにわかりやすい話を心がけるようにしたいと思った。懇親会も楽しく愛岳行事は今後も参加したい。  
なお国見尾根自体は急登で県民登山には向かないという結論だった。

N